

声明

2023年1月23日

2023年 通常国会 開会にあたって



タガが外れきったように右へ右へと漂流しつづける岸田政権の下で、本当に「歴史的な大転換」が既成事実化されてしまうのか。これではまるで、日本にはもはや憲法も国会も存在しないかのようです。メディアのチェックもほとんど機能していません。報道というより政府発表ばかりがだらだらと垂れ流されています。

こうして立憲主義も民主主義も骨抜きにされて、戦争をする、いや、させられる国へと変わる準備は進められるのか、と唾然としてしまう私たちもどこかにいます。将来、歴史の審判を受けることになるのは、そういう意味では、私たちでもあります。

1月23日に召集される通常国会では、使途も効果も財源もはっきりしないまま進められる軍事大国化路線を押し止める大きな連携を立憲野党と市民が再建できるかが、最大の焦点になります。いまだ出口の見えないコロナ禍に物価高が追い討ちをかけて脅かす、私たちのいのちと暮らしを本気で守る野党や政治家を、私たち自身が見極め、増やすところから始めなくてはなりません。4月の統一地方選挙はその重要な契機になります。

東電福島第一原発事故を忘れたかのように原発再稼働・運転延長・新規建設を推進する法案や、ウィシュマ・サンダマリさんの死亡事件がなかったかのような出入国管理法改正案、新規会員任命拒否という違法行為を政府自身が犯したまま政府介入を正当化するような日本学術会議法改正案なども政府は提出する構えです。

こんな国になっていくことを私たちは看過することができません。

「勝手に決めるな」「生きさせろ」「誰も殺すな」と声をあげることからしか、私たちは始めることができませんが、そんな私たちの声に応える野党や政治家を応援します。